

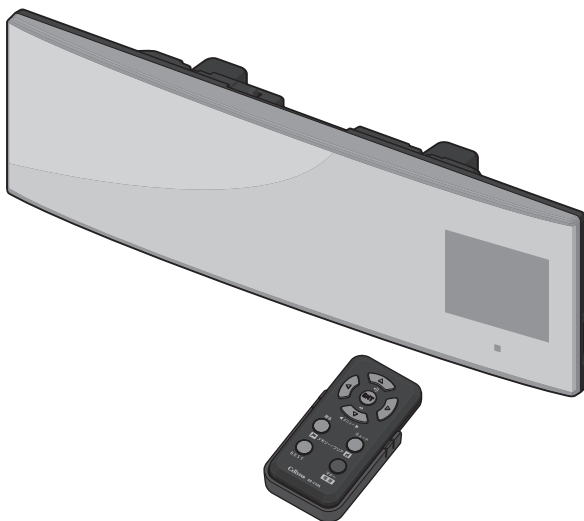
Produced to assure your safety.

ASSURA®

VA-225E

緩曲面鏡ハーフミラータイプ
GPS レーダー探知機

取扱説明書



Copyright © 2010 CELLSTAR INDUSTRIES Co.,Ltd. All Rights Reserved.

Cellstar およびASSURA は、セルスター工業株式会社の登録商標です。

microSD™はSDアソシエーションの登録商標です。

microSD Logoは登録商標です。

その他会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



* 本書は、資源有効活用を目的として、環境に配慮した大豆油インクを使用しております。



ご購入のお客様へ

この度は、当社製品をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、本機を正しくお使いください。
なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

本機は、安全運転を促進する目的で製造販売しております。

速度の出しすぎに注意して走行してください。

また、緊急車両が接近した場合には速やかに道をお譲りください。

本機の特徴

■ イオス : Effective Operation System



心地よく、効率の良いドライビングサポートを実現させるシステムを採用。GPS情報と登録データを連動させ、常に走行状況を把握することで、自動的に走行速度に合わせた警告内容を判断します。走行状況によりボイスアシストの内容が変化するなど、快適な使用感をご提供いたします。

■ ビー・キャン



常に適切なドライビングサポートをおこなえるよう、自動ドアなどによるレーダー警告音や取締機の撤去などで必要なくなったGPS警告音を、ワンタッチ操作で簡単にキャンセルさせることができます。

■ BESTセレクト機能



“BESTボタン”をワンタッチ操作するだけで、機能設定が完了。面倒な設定操作を必要とせず、あらかじめ設定されている「オールモード（すべての警告動作を実行）」「標準モード（お薦めできる標準的な設定）」と、自由にカスタマイズ可能な「マニュアルモード1（初期設定が高速道向け）」、「マニュアルモード2（初期設定が一般道向け）」の4つを状況に合わせて切り替えることで、より便利で簡単にご使用いただけます。

■ MyCellstar



MyCellstarのWEBサイトから、無料でGPSデータ、実写案内用画像をダウンロードできます。

<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

GPSデータ更新ダウンロード

最新データの更新 年間 6回

無料



microSD カードでできること

- GPSデータ更新 (P34参照)
 - 実写案内 (P13参照)
 - デジタルフォトフレーム機能 (P26参照)
- * microSDカードは別売です。

■ microSDカードで実写案内

カー雑誌Optionとのコラボレーション企画により、取締機などをMyCellstarのWEBサイトより、無料でダウンロード可能。市販のmicroSDカードに記録して、警告パターンの変更すると実写案内をおこないます。

- * 実写案内用画像の更新回数はGPSデータ更新とは異なります。
- * microSDカードの使用方法 (P13参照)
- * 基本設定一覧 (P26参照)



目次

本機の特徴	2
-------	---

はじめに

安全上の注意	4
使用上の注意	5
付属品の確認	6
各部の名称と機能	7

本機の取り付け

電源の取り方	8
シガーライターから電源を取る場合	8
ヒューズボックスから電源を取る場合	9
ACC線から直接電源を取る場合	9
本体の取り付け方	10
ミラーへの取り付け	10
配線処理	11
リモコンの取り付け方	12
リモコン用電池の装着方法	12
リモコンの取り付け	12
microSDカードの使用方法	13
microSDカードの挿入	13
microSDカードの取り出し	13

基本操作

電源を入れる/切る	14
電源を入れる	14
電源を切る	14
リモコンの操作	15
音量の調整	15

画面の説明

待受画面の見方	16
警告案内画面の見方	18
各種GPS警告案内例	19
警告の種類と内容	20
GPS警告	20
各種無線警告	22
レーダー波警告	22

各種設定

各種設定の変更	23
BESTセレクト機能	23
機能設定と基本設定の変更	23
機能設定一覧	24
基本設定一覧	26

もっと使いこなす

GPSを利用した機能	30
GPS測位について	30
GPS警告ポイントの消去	30
ユーザーメモリ	31
レーダーキャンセルエリア	32
音の設定	33
警告音のミュート	33
マナーモード	33
その他の機能	34
セレクトティブアイコン	34
GPSデータ更新	34
GPSデータと実写案内用画像のバージョン確認	35
反則金データベース表示機能	35
エリアタイムディママー機能	35
オートトーンダウン機能	35
レシーバーオートミュート機能	35
本機の初期化	35

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら	36
------------	----

アフターサービス

アフターサービスについて	38
--------------	----

安全上の注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明していきます。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が切迫して想定される」内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性または物的損害*の発生の可能性が想定される」内容です。 * 物的損害とは、車両・家屋・家財等に関わる拡大損害を示します。

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。具体的な強制内容は、近くに文章で示します。
	この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。具体的な禁止内容は、近くに文章で示します。
	この表示は気をつけていただきたい「注意」の内容です。具体的な注意内容は近くに文章で示します。

危険

-  本機はDC12V 専用です。他の電圧での使用は故障の原因になりますので、絶対におやめください。
-  走行中に本機の操作や画面の注視をしないでください。
* 交通事故の原因となります。
-  万一、故障した場合は直ちに使用を中止してください。
* そのまま使用しますと火災や感電の原因となります。
-  医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
* ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。
-  水につけたり、水をかけたり、また、ぬれた手では絶対に操作しないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。
-  煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態のままで使用しないでください。
* 発火して火災の原因となります。

警告

-  運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
* 誤った取り付けは交通事故の原因となります。
-  エアバッグの近くに取り付けたり配線したりしないでください。
* 万一エアバッグが作動した時、本体が飛ばされ事故やケガの原因となります。また、配線が妨げとなりエアバッグが正常に動作しないことがあります。
-  電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工したりしないでください。電源コードが傷ついた場合には直ちに使用を中止してください。
* 感電やショートによる発火の原因となります。
-  本機は精密機器です。分解や改造は絶対にしないでください。
* 発熱、火災、ケガの原因となります。
-  ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しをしないでください。また、ぬれた状態のプラグを差し込むなどの行為もしないでください。
* 火災や感電、故障の原因となります。

注意

-  穴や隙間にピンや針金を入れないでください。
* 感電や故障の原因になります。
-  本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
-  夏の炎天下、真冬の駐車の際はできるだけ本機を取り外してください。
* 性能の劣化、本体の変形をまねく原因となります。
-  一部のカーナビゲーションと同時に使用すると、本機が鳴り続ける場合があります。
-  本機を取り付けている、いないの状態にかかわらず、速度違反や駐車違反などに関して、当社では一切の責任を負いかねます。
-  microSD カードの挿入、取り出しをするときは、microSD カードスロットに顔を向けしないでください。
* ケガの原因になります。

使用上の注意

■ 取り付けについて

- ・取り付けする車のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためにGPS信号、レーダー波、各種無線の受信がしにくい場合があります。熱反射ガラスの使用の有無は車両のディーラーやメーカーへお問い合わせください。
- ・本機は、防水構造ではありません。必ず車内へ取り付けてください。
- ・本機は、車の電装機器（地上デジタルチューナー、カーナビ、ETC、アンテナ類等）や電源ノイズの影響により、特定チャンネルを連続的に受信する場合やGPSを含む各種無線が受信できなくなる場合があります。また、本機の取り付け位置によっては、お互いの動作に影響が出る場合があります。これは故障や不良ではありません。その場合には、十分間隔をとって取り付けてください。
- ・車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機がGPS測位をできなくなる場合があります。これは故障や不良ではありません。
- ・一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、シガーライターソケットの形状に合わない場合があります。また禁煙車など、シガーソケットが装備されていない車の場合には、付属の直結配線用DCコードを使用してください。
- ・直結配線用DCコードでの車の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになれた販売店などでの取り付けをお願いします。

■ 各種GPS警告について

- ・各種GPSデータは、当社独自調査によるデータ、公表されているデータを参考に集計、作成しています。
- ・取締りポイントおよび待伏セエリアは、取締りの目撃情報をもとに登録されています。
- ・凍結注意アラウンスは、独自調査による、道路凍結しやすい地点、期間でお知らせします。
- ・事故多発エリアは警察庁、国土交通省の統計データにより集計していますが、集計の時期またその後の道路の改良などにより実際の状況と異なる場合があります。また首都圏や都市部などでは事故多発エリアが集中し警告が頻繁におこなわれる場合があります。

■ 各種無線の受信について

- ・各種無線は常に使用されていません。本機での受信は、無線が使用され、電波が出ている場合に限りです。
- ・電波の状態等によって受信状態が変化します。
- ・一部地域では各種無線が整備されていない、またはシステムが異なる、変更されるなどの理由により受信することができない場合があります。

■ 各種警告案内について

- ・本機は、本機に登録、記録されたデータ、およびGPS信号、レーダー波を含む各種無線を受信し、それをもとに独自に計算されたデータを利用して警告をおこなっています。そのため、登録、記録されていない地点や、GPS測位が不安定、未測位の場合、および各種無線が受信できない場合には、警告動作をおこなうことができません。また、警告内容と実際の状況などが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機でお知らせする制限速度は、天候、その他による臨時規制や時間帯で変化する速度規制には対応していません。
- ・制限速度切替りポイントは、インターチェンジやジャンクションなどの接続部や料金所などによる制限速度の切替りはお知らせしません。
- ・ロード自動選択機能は、現在の走行状態が一般道か高速道を走行中かを自動判断し、警告対象道路を自動で設定するため、走行状態によっては実際状態と異なる設定となる場合があります。確実に警告を出したい場合には、ロード自動選択を「オフ」に設定してご使用ください。
- ・本機でお知らせする飲酒運転警告案内は飲酒運転をしないように注意を促すもので飲酒検問等をお知らせするものではありません。
- ・ドライブ/エコ情報については当社独自の方法により算出します。

■ ハーフミラーについて

- ・夜間走行の際、ハーフミラーの特性によりミラーが暗く見えづらい場合があります。

■ 緩曲面鏡について

- ・ミラー部分は、曲面となっているため、純正ミラーとは距離感や視野の範囲が異なります。また歪んで映る場合もありますので、ご注意ください。

■ レーダー波受信について

- ・設置されている速度取締機の中には稼働していないものもあります。この場合、レーダー波を使用している種類であってもお知らせすることができない場合があります。
- ・取締りレーダー波以外でも、同一チャンネル等の電波を受信し警告動作をする場合がありますが、誤動作ではありません。
- ・ステルス波の受信によるステルスアラームは、その性質上距離的余裕をもってお知らせすることができません。ステルスアラームが鳴った時にはすでに計測されている場合があります。
- ・大型車の後方を走行する場合やカーブの急な道路を走行する場合、レーダー波を受信しにくい状態になる場合があります。

■ カーロケータースystemについて

- ・カーロケータースystemはすべての警察関係車両に搭載されていません。また搭載されていても常時電波を発信していません。
- ・カーロケータースystemの受信については、導入されていない、またはシステムが変更されている地域では受信することができません。

■ ディスプレイについて

- ・待受画面と同じ映像を長時間表示したり、繰り返し表示（短時間でも）した場合、ディスプレイの特性により画面の焼付けが起こる可能性があります。これは不良や故障ではありません。また保証対象になりませんので、あらかじめご了承ください。スクリーンセーバーを使用したり、ディスプレイの明るさを暗く調整することで、焼付けの発生を軽減させることができます。
- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や、輝点が発生する場合があります。またすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これはディスプレイの特性、または構造によるものであり、不良や故障ではありません。本現象のディスプレイの修理は、保証対象になりませんのであらかじめご了承ください。
- ・ディスプレイを際限に向けたままにすると、故障の原因となります。車に設置する際には、ご注意ください。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えなくなる場合があります。

■ microSDカードスロットについて

- ・microSD[®]はSD アソシエーションの商標です。
- ・ご使用に際しては、必ず「microSDカード」のデータのバックアップを作成してください。記録されたデータの破損、消失については故障や損害の内容、原因に関わらず当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

■ GPS警告の実写案内、デジタルフォトフレーム機能について

- ・GPS警告の実写案内、デジタルフォトフレームの機能を使用する際には市販の「microSDカード」を読み書きでき、なおかつインターネットへの接続が可能なパソコン環境が必要となります。また機能によっては本機での使用に適したデータを作成する必要があります。データの作成方法については、当社HPをご参照ください。
URL:<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

■ データ更新について

- ・ダウンロードによりデータ更新をおこなう場合、市販の「microSDカード」を読み書きでき、なおかつインターネットへの接続が可能な環境が必要となります。

■ その他注意について

- ・本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。
- ・製品のデザインや仕様は、改良等のため予告なく変更場合があります。
- ・本機の誤った取り扱いによる車両や車載品などの事故・破損・故障・損害等が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。また保証なども一切ありません。
- ・本機は、安全運転を促進する目的で製造販売されてます。くれぐれも、速度の出し過ぎや飲酒運転は絶対におやめください。また、緊急車両が接近した際には速やかに道を譲ってください。

付属品の確認

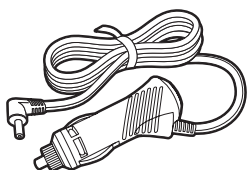
付属品

はじめに、同梱物の確認をおこなってください。

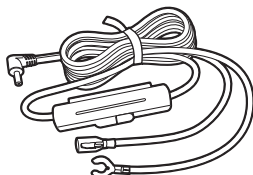
☐ 取扱説明書（本書）

☐ 保証書

* その他注意書きが同梱している場合があります。



☐ シガーライター用
DCコード



☐ 直結配線用DCコード



☐ コードクリップ×5



☐ リモコン



☐ リモコンホルダー



☐ リモコンホルダー
取付用両面テープ



☐ リモコン用電池

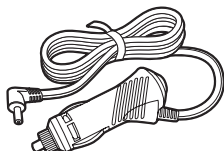
オプション品

別途お買い求めください。

詳しくは当社ホームページをご確認ください

<http://www.cellstar.co.jp>

● RO-101 電源スイッチ付DCコード
（ストレートタイプ）

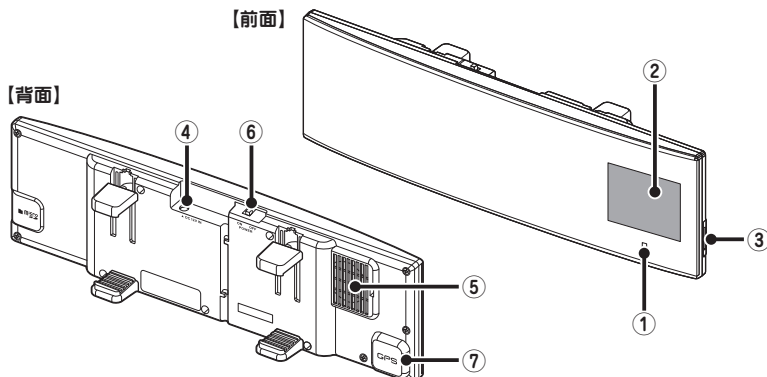


● RO-102 電源スイッチ付DCコード
（カータイプ）



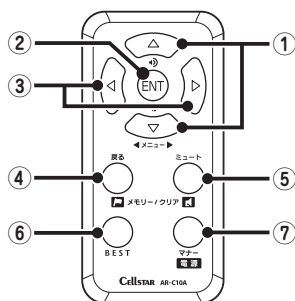
各部の名称と機能

本体の名称と機能



- ① **赤外線受光部**
リモコンから送信される赤外線を受光します。
- ② **ディスプレイ**
レーダー受信時、GPS警告時、各種無線の受信時に警告画面を表示します。また、マニュアルモードなどで各種設定内容を示します。
- ③ **microSD カードスロット**
GPS警告の実写真内、デジタルフォトフレーム(待受画面)などを使用する場合に市販のmicroSDカードを挿入します。
- ④ **DC12V ソケット**
DCコードを接続し、DC12Vを本機に入力します。
- ⑤ **スピーカ**
警告音や、ボイスガイドなどの音が出ます。
- ⑥ **電源スイッチ**
電源のON/OFF をします。
- ⑦ **GPS**
GPS衛星を受信します。

リモコンの名称と機能



- ① **▲▼ボタン**
音量を調整するときに使用します。また、各種設定変更時の設定内容切り替えや、セレクトティブアイコン一括非表示などに使用します。
- ② **ENT ボタン**
設定操作の決定をするときに使用します。
- ③ **◀▶ボタン**
設定メニューの選択時に使用します。
- ④ **戻るボタン**
ユーザーメモリ機能やGPS警告ポイント消去機能などを設定するときに使用します。また、各種設定の操作などを中止するときにも使用します。
- ⑤ **ミュートボタン**
ミュート機能、レーダーキャンセルメモリなどを設定するときに使用します。
- ⑥ **BEST ボタン**
BESTセレクト機能の切り替えや設定チェックをするときに使用します。
- ⑦ **電源ボタン**
本体の電源をON/OFF します。またマナーモードを切り替えるときや、反則金データベースを表示するときに使用します。

電源の取り方

⚠ 注意

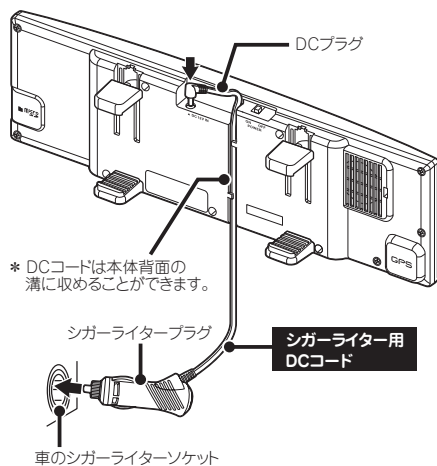
- 本機の取り付けには専門的な知識を必要とします。お買い求めになられた販売店などでの取り付けをお薦めします。
- 取り付け、配線は視界の妨げ、運転の妨げ、また車両の機能(ハンドル、ブレーキなど)の妨げにならないように注意し確実にこなってください。
- エアバッグの近くに取り付けたり、配線したりしないでください。
- 本体の取付場所、各コードの配線処理によっては、ノイズなどによる車両への影響、また周辺の電子機器の影響を受ける場合があります。
- DCコードを無理に曲げたり、つぶしたり、加工しないでください。
- 直結配線用DCコードを使用して配線をおこなう場合、ショート事故防止のため、あらかじめバッテリーの(－) マイナス端子を外して作業をおこなってください。
- 直結配線用DCコードでの配線の場合には、確実に車のボディにアース接続してください。
- シガーライター用DCコードをシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らないでください。

シガーライターから電源を取る場合

シガーライター用DCコードのプラグを、シガーライターソケットに接続してください。

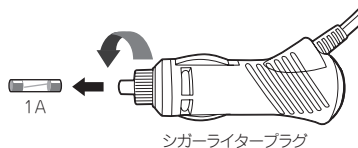
⚠ 注意

一部の車種において付属のシガーライター用DCコードが、シガーライターソケットの形状と合わない場合があります。



■ ヒューズが切れた場合

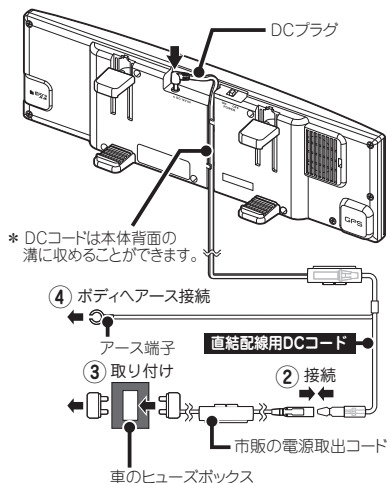
ヒューズ (1A) を交換します。



ヒューズボックスから電源を取る場合

市販の電源取出コード（平型ヒューズタイプ）を使用して、ヒューズボックスから電源を取ることができます。

- 1 ACC オン/オフに連動するヒューズボックス内のヒューズ（シガーライター、ラジオなど）を探す。
- 2 直結配線用DCコードと電源取出コードを接続する。
- 3 ヒューズボックスのヒューズを抜き、電源取出コードをバッテリー側に差し込む。
- 4 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する。



注意

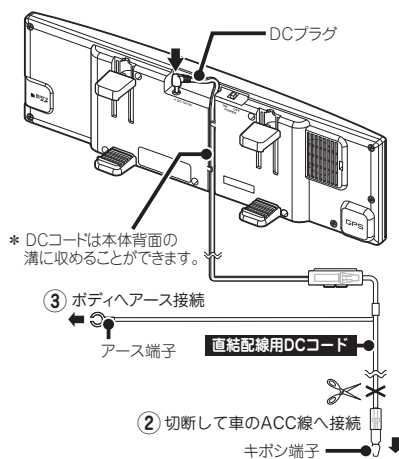
エンジンをかけて本機の電源が入らない場合は、以下の点を点検してください。

- 本体の電源スイッチ
- コード類の接続
- 車、または直結配線用DCコード内のヒューズ

ACC線から直接電源を取る場合

市販のエレクトロタップなどを使用して、車のACC線から直接電源を取ることができます。

- 1 テスターなどで、車のキーをACC オンにしたときに12V、オフにしたときに0VになるACC線を探す。
- 2 直結配線用DCコードのギボシ端子を切り落とし、市販のエレクトロタップなどを使用して車のACC線へ接続する。
- 3 直結配線用DCコードのアース端子を車のボディに接続する。



アース端子接続

アース端子はボディの金属部に接続してください。

【取り付けに適している場所】

車の電装のアースポイント（コンピューター、リレーなどのアースコードを直接ボディに接続しているところ）

【取り付けに適さない場所】

- アンダーダッシュやセンターコンソールなど樹脂を止めているネジ（タッピングネジなど）
- チルトステアリング装備車で、ステアリングと一緒に動作（上下）する金属部分



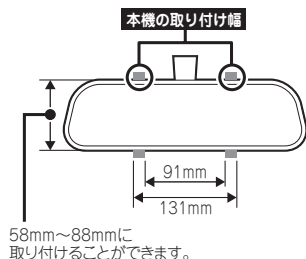
注意

本体の取り付け方



注意

- ・本機は下記寸法内のルームミラーに取り付けて使用することができます。
- ・自動防眩ミラー、特殊なサイズや形状のルームミラーには取り付けできません。

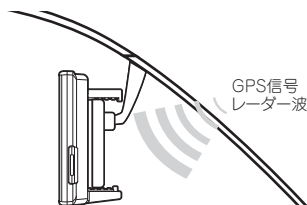


- ・純正ルームミラーの形状によっては取り付けできない場合があります。



- ・ルームミラーに強い荷重がかからないよう、ルームミラーを支えて取り付けてください。また、車体への取付強度が弱い一部の車種などは、破損の原因となりますのでご注意ください。

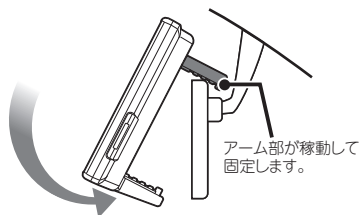
- ・本機は上空からのGPS信号受信と前後方向からのレーダー波を受信してお知らせします。そのため本体の上や前(車の進行方向)などに、金属などの障害となるものがないように本体を取り付けてください。



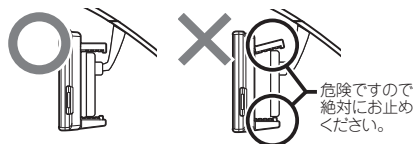
- ・一部車種のウィンドウに採用されている熱反射ガラスは、電波の透過率が低いためGPS信号やレーダー波の受信がしにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用の有無はカーディーラーやメーカーへお問い合わせください。

ミラーへの取り付け

1 本体をルームミラーにはめる。



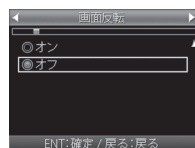
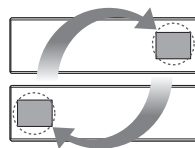
振動により落下しないために、アーム部分を曲げずミラーに本体を密着させ、しっかり取り付けてください。



2 DCソケットにDCプラグを接続する。

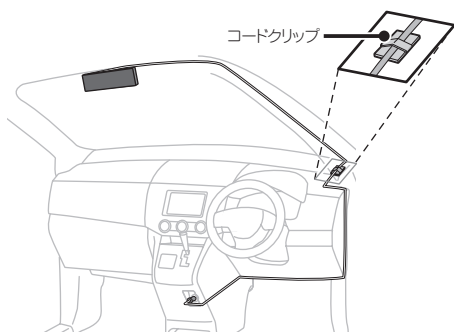
■ 左ハンドル車に取り付ける場合

左ハンドル車で使用する場合、本体を上下逆さまに取り付け、画面反転の設定（P26参照）を「オン」に設定します。



配線処理

コード類は運転の妨げとならないように、付属のコードクリップなどを利用して、配線処理してください。余分なコード類はビニールテープなどでしっかり束ねてください。コード類を表面に出したくない場合は、ガラスと内張りなどの隙間やパッキン類の隙間に入れます。



⚠ 注意

- 配線の際、エアバッグの内蔵されている内張りなどの周囲では、十分に注意して作業をおこなってください。
また、エアバッグの内蔵されている部品などを外さないでください。必要な場合には、必ずカーディーラーの指示を受けてください。
- コードが可動部分に挟み込まれたり、無理に曲げたりしないように配線処理してください。
- コードを車のダッシュボードなどに固定した場合、ダッシュボードなどの材質や使用環境により、コードの被覆がダッシュボードなどに色移りする場合があります。十分ご注意ください。

リモコンの取り付け方



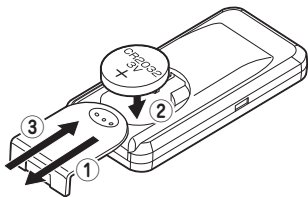
リモコンを紛失すると、本機のご操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。

リモコン用電池の装着方法

本機ではボタン電池（CR2032）を使用します。
初めて本機をご使用になる場合は、同梱の電池を入れてください。

また、リモコンが作動しにくくなった場合は、市販されている新しい同型の電池に交換してください。

1 電池カバーを後ろにずらして外す。



2 電池を上図のように「+」側を上にして、リモコンに入れる。

3 電池カバーをはめ直す。



警告

- 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 電池は充電、分解、変形、加熱、はんだ付け、火に入れるなどしないでください。



注意

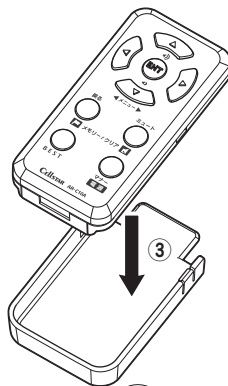
- 電池の「+」「-」を逆に入れないでください。
- 長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- 同梱の電池はモニター用電池です。
- 使い終わった電池の処分は、各地方自治体の指示に従ってください。

リモコンの取り付け

リモコンを紛失しないように、リモコンホルダーを車に固定することをお奨めします。

1 リモコンホルダーにリモコンホルダー取付用両面テープを貼り付ける。

2 リモコンホルダーを取り付け箇所に貼り付ける。



リモコンホルダー
取付用両面テープ

3 リモコンをリモコンホルダーに納める。

microSDカードの使用方法

市販のmicroSDカードを使って、MyCellstarのサイトより無料で、GPSデータと実写案内用画像のダウンロードによる更新、デジタルフォトフレームの設定などができます。

■ GPS警告の実写案内例



- * 実際の速度取締機と表示される写真や設置状況が変更により、異なる場合があります。
- また、実写案内用画像が登録されていない取締機の場合、アニメ警告表示となります。

MyCellstar : <http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

- * 上記サービスを利用するには、インターネットへの接続が可能な環境とmicroSDカードを読み書きできるパソコンが必要となります。
- * 本機はSD規格に準拠したFAT16形式でフォーマットされたmicroSDカードが使用できます。
- * 本機では、8MB ~ 2GBまでのmicroSDカードが使用できます。
- * 本機では、SDHCのmicroSDカードは使用できません。
- * microSD™ はSDアソシエーションの商標です。

⚠ 注意

microSD カードに保存したデータの取り扱いについて

- ・本機は、使用の誤り、静電気、電氣的ノイズの影響を受けたとき、故障・修理が発生した場合などにお客様が保存したデータが破損してしまう場合があります。microSDカードを使用する前にデータのバックアップを取っておくことをお勧めします。なお本機におけるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様が記録、録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

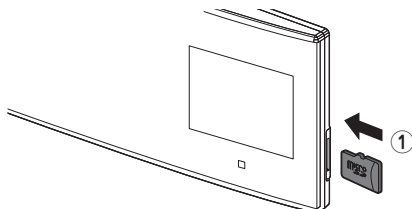
(警告パターン P28参照)

(基本設定一覧 P26参照)

(GPSデータ更新 P34参照)

microSDカードの挿入

- 1 本体左側面のmicroSDカードスロットに、microSDカードの向きを注意して「カチッ」と音がするまで押し込む。

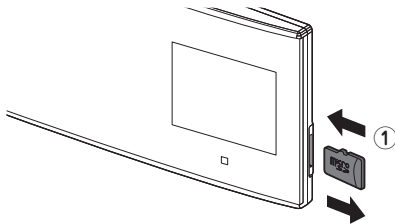


本機の取り付け

microSDカードの取り出し

- 1 本体左側面のmicroSDカードスロットに挿入されているmicroSDカードを「カチッ」と音がするまで押し込む。

microSDカードが排出されます。



電源を入れる/切る

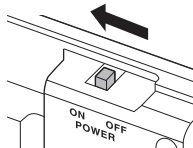
電源を入れる

1 車のエンジンを始動する。

2 本体の電源スイッチを「ON」にする。

またはリモコンの電源ボタンを約3秒間押し続けます。電源が入るとウェルカムボイスで、シートベルトの着用または全国交通安全運動週間の案内や飲酒運転警告をお知らせします。

本体の上面



電源ボタン

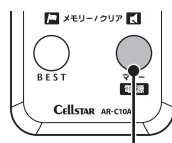
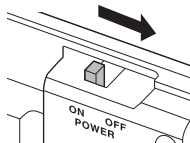
- * リモコンによる電源ON操作はリモコンにより電源OFFした後、有効となります。

電源を切る

1 本体の電源スイッチを「OFF」にする。

またはリモコンの電源ボタンを約3秒間押し続けます。約1秒後反則金データベースが表示されますが、そのまま押し続けてください。

本体の上面



電源ボタン

オープニング画面

- * ご購入後、はじめて電源を入れた日が交通安全運動期間中の場合、交通安全運動期間中の案内はおこないません。シートベルトの着用案内をお知らせします。また、はじめて電源を入れた時間が夜間の場合でも飲酒運転警告はおこないません。



注意

始めてお使いになる場合

GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが（約15分程度）、これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。GPS測位が確定すると「トピンボン、GPSを測位しました。」とお知らせします。



通常時はシートベルト着用のお知らせをします。



飲酒運転警告機能の設定が「オン」の場合、夜間に本機の電源が入ったときにお知らせします。



4月6日～4月15日の春の交通安全運動週間にお知らせします。

- * 4年に一度おこなわれる統一地方選挙のある年だけ、5月11日～5月20日に変更になります。

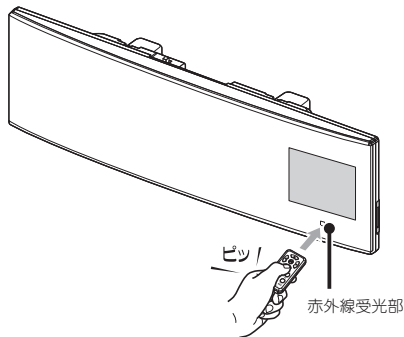


9月21日～9月30日の秋の交通安全運動週間にお知らせします。

リモコンの操作

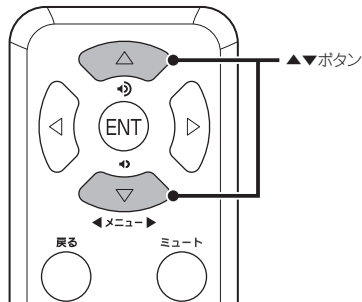
音量の調整

リモコンの操作をするときは、リモコンを図のように持ち、本体の赤外線受光部に向けてボタンを押してください。



本機のスピーカーから出力される音量を調整します。

1 ▲▼ボタンを押して音量を調整する。



数秒後、待受画面に戻ります。



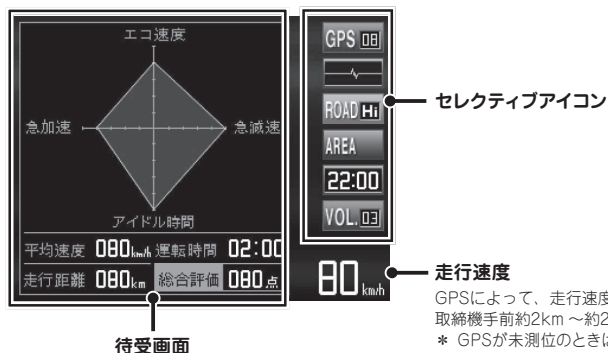
注意

- リモコンを紛失すると、本機の操作をおこなうことができません。紛失しないよう、十分ご注意ください。
- 本体の赤外線受光部およびリモコンの赤外線送信部に直射日光が当たっている場合、リモコンが操作できなくなる場合があります。これは本機の製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

待受画面の見方

本機が起動すると、次の待受画面を表示します。各種警告や案内をおこなうたびに画面が切り替わります。(P26参照)

- * 表示されるデータは目安としてご使用ください。
- * 工場出荷時は、デジタルメーターが表示されます。



GPSによって、走行速度を測定し表示します。
取締機手前約2km～約200m間で、制限速度超の場合は赤色に表示します。
* GPSが未測位のときは「— km/h」と表示されます。

セレクトティブアイコン

画面に表示するアイコンをお好みで選択し、最大6個まで表示することができます。選択したアイコンは下記の優先順位によって表示されます。(P26、P34参照)

表示優先順位	アイコン	内容
1	GPS	測位しているGPSの状況と数を表示します。 グレー：測位 赤：未測位
2	無線（黄色） レーダー（紫色）	無線またはレーダ波の受信状態を表示します。 通常時 ～ (5段階)受信状態
3	ロード自動選択	ロード自動選択(P26参照)の状態を表示します。 オールのとき シティのとき ハイウェイのとき 設定をオフにしたとき
4	駐禁 待伏せエリア	駐車禁止エリアのとき 待ち伏せエリアのとき
5	時間	現在の時刻を表示します。
6	音量	音声出力の状態を表示します。 マナーモードが設定されているとき 音量0（ミュート時も含みます）
7	L.S.C. (ロースピード キャンセラー)	L.S.C.の状態を表示します。 L.S.C.設定速度以上の走行時 L.S.C.設定速度以下の走行時 L.S.C.設定速度がオフのとき
8	SD	microSDカード挿入時に表示/SDカードにアクセスしているときは点滅表示します。
9	方位	方位を表示します。

待受画面

デジタルメーター



アナログメーター

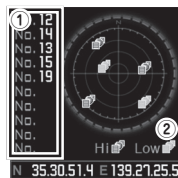


時間 カレンダー



衛星情報

測定しているGPS衛星の位置や数を表示します。



① GPS衛星番号

現在、測位しているGPS衛星の番号を表示します。最大12のGPSを受信します。

* 10基のGPS衛星を表示します。

② GPS衛星の位置

現在、測位しているGPS衛星の位置を表示します。

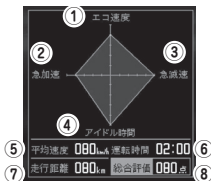
Hi 高感度で測位している衛星

LOW 低感度で測位している衛星

エコドライブ

急加減速やアイドル時間などをGPSから測定し、点数表示します。

* 取付状態によっては、正確にエコドライブを表示しない場合があります。(P10参照)



① エコ速度

走行速度50km/h～100km/h間で加減速の少ない走行が連続1分間以上継続したとき点数が加算します。

② 急加速

感知したときに減算されます。

③ 急減速

感知したときに減算されます。

④ アイドル時間

アイドリング時間を判定して点数が減算されます。

⑤ 平均速度

走行距離と運転時間から算出した平均速度を表示します。

⑥ 運転時間

電源を入れてからの時間を表示します。

⑦ 走行距離

GPSによって、電源を入れてからの走行距離を表示します。

⑧ 総合評価

①～④の評価項目から判定して点数を表示します。

デジタルフォトフレーム

詳しくは、専用サイトをご覧ください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

オフ

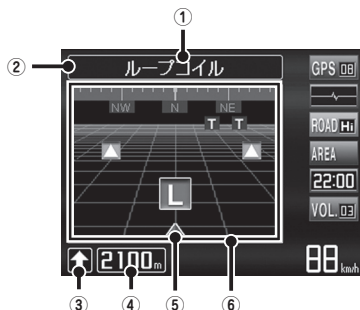
待受画面を非表示にします。

警告案内画面の見方

取締機などの警告や案内時の動き

エリアビュー

(取締機手前約3km以内)

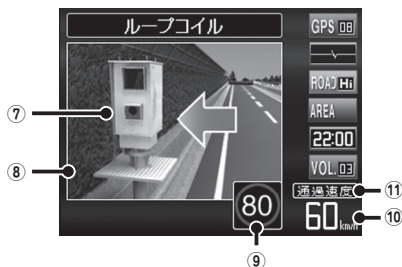


* エリアビューは、駐車禁止エリア、制限速度切りポイント、県境アナウンス、凍結注意、盗難多発エリアでは表示されません。

* エリアビューの表示/非表示を設定することができます。(P26参照)

GPS警告

(取締機手前約2km～約200m)



① 取締機などの名称

③で警告している取締機などの名前を表示します。

② ③で警告している取締機がある道路種をお知らせします。

緑色	高速道
青色	一般道

③ 取締機のある方向

自車位置から取締機などが設置されている方向を矢印で表示します。

④ 取締機までの距離

自車位置から取締機などが設置されている地点までの距離を表示します。

⑤ 自車位置

自車位置を表示します。

⑥ 取締機などの位置

③で警告しているアイコンは、点滅してお知らせします。

H	新Hシステム	
L	ループコイル	
LH	LHシステム	
NH	NHシステム	赤色
O	レーダー式オービス	
SG	信号無視監視機	
▲	その他のポイント	緑色
T	取締りポイント	青色
U	ユーザーポイント	黄色

⑦ 取締機のイラスト

イラストは取締機の種類と設置されたカメラ位置(道路の左/中央/右)によって変化します。

* microSDカードスロットに実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告バターンの設定(28ページ参照)を「実写案内」に設定すると、警告画面が実写に変わります。(一部アニメ警告でお知らせします。)

⑧ 制限速度超の場合、赤色点滅します。

⑨ 制限速度

取締機などの制限速度を表示します。

⑩ 通過速度

制限速度超の場合は赤色で表示します。

⑪ 通過速度の案内

白色	通過速度が制限速度内のとき
赤色	通過速度が制限速度超のとき

各種GPS警告案内例

速度取締機、信号無視監視機の警告動作

4ステップGPS警告（速度取締機の約2km手前から最大4回）でお知らせします。

例：首都高速、ループコイルの場合



* 距離のお知らせは、走行状況によって2km先/2km以内、1km先/1km以内、500m先/500m以内と変化します。

* 一般道は、約1km手前からの3ステップGPS警告になります。

ステップ1（約2km手前）



4ステップGPS警告開始。

高速道

♪ピンポン 2km先 首都高速 ループコイル に注意してください。

一般道

ステップ2（約1km手前）



高速道

♪ピンポン 1km先 首都高速 ループコイル に注意。制限速度 80km/h以下です。

一般道

制限速度を超過している場合（例：制限速度 80km/h）

♪ピンポン 制限速度 80km/h以下 です。危険です。スピード落として。

ステップ3（約500m手前）

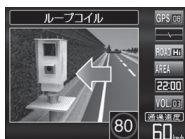


高速道

♪ピンポン 500m先 首都高速 ループコイル に注意してください。

一般道

ステップ4（約200m手前）



高速道

♪ピンポン カメラは左側 です。通過速度は 60km/h以下です。

一般道



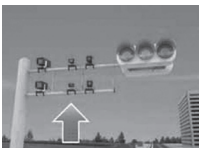
注意

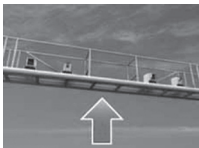
・通過速度の警告は4ステップGPS警告中の約200m手前で、警告を開始した時点に計測した速度をお知らせします。GPSで計測した速度と車のスピードメーターでは計測方法が異なるため、同時点の計測であっても異なる場合があります。

警告の種類と内容

GPS警告

microSDカードスロットに実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを挿入して、警告パターンの設定(P28参照)を「実写案内」に設定すると、警告画面が実写に変わります。(一部アニメ警告でお知らせします。)

警告内容	警告画面
ループコイル 複数のループコイルを通過するのにかった時間から走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 * 画面はカメラの向きにより異なります。	
Hシステム レーダー波と異なる電波を使用します。事前に「速度超過」などを速度警告板に表示し、無視した違反車両をデジタルカメラで撮影します。	
トンネル内・出口速度取締機 トンネル内および出口付近の速度取締機に対して、トンネル手前で警告します。 * 画面は取締機の種類により異なります。 * トンネル内取締機もトンネル出口とボイス警告します。	
Nシステム 盗難車両の発見、自動車を盗用した重要事件の犯人検挙のために自動でナンバーを読み取ります。	
信号無視監視機 信号無視の違反車両を監視します。	

警告内容	警告画面
過積載監視システム 路面に設置された重量測定用の踏み台と道路上方のカメラで、大型車の重量オーバーを監視します。	
オービス LHシステム NHシステム	
オービス： レーダー波（マイクロ波）を車に当てて走行速度を計測し、違反車両をカメラで撮影します。 LHシステム： 複数のループコイルを通過するのにかった時間から走行速度を計測し、違反車両をデジタルカメラで撮影します。 NHシステム： 走行車両をデジタルカメラで撮影し、その画像のブレから走行速度を算出して違反車両を特定します。 * 画面はカメラの向きにより異なります。	
警察署 緊急トラブルなどにも安心と安全運転をサポートするため、全国各地の警察署に登録しています。 * レーダー感度が「オート」設定の場合、警告開始から約120秒間は、感度が「エクストラ」に固定されます。	
駐車禁止エリア 公表されている取締活動ガイドラインと当社調査による、駐車禁止エリアなので、標識などによる駐車禁止場所では、お知らせしない場合があります。	
事故多発エリア 事故発生率の高いエリアです。	

警告内容	警告画面
盗難多発エリア 盗難多発ポイントを、発生の多い時間帯で低速走行時にお知らせします。	
交通警察隊 交通検問所 取締りポイント 待伏せエリア 交通警察隊： 交通警察隊を登録しています。 交通検問所： 一般道では道路脇に、高速道では料金所脇の高速隊詰所やサービスエリアに設置されています。 取締りポイント： 主に速度取締りがおこなわれている可能性の高いポイントです。ポイントの1km手前と500m手前（一定の速度より速い場合のみ）で警告します。 待伏せエリア： シートベルト、一時停止、飲酒、携帯電話、信号無視、一方通行、右左折禁止、通行区分違反、その他の取締りがおこなわれている可能性の高いエリアです。 * レーダー感知が「オート」設定の場合、警告開始から約120秒間は、感知が「エクストラ」に固定されます。	
制限速度切り替えポイント 制限速度が切り替わる付近でお知らせします。制限速度アップでは上向き矢印を表示、制限速度ダウンは下向き矢印を表示します。	
高速道凍結注意アナウンス 高速道のトンネルや橋付近で、凍結に注意が必要なポイントをお知らせします。 * 12月中旬～2月のみ。	
急カーブ 目前の急カーブや、山間部のカーブが連続している場合にお知らせします。 * 画面はカーブの向き・種類により異なります。	

警告内容	警告画面
道の駅 一般道に併設されている道の駅をお知らせします。	
ハイウェイオアシス 高速道に併設されているハイウェイオアシスをお知らせします。	
サービスエリア 全国的高速道路に併設されているサービスエリアを登録しています。	
パーキングエリア 全国的高速道路に併設されているパーキングエリアを登録しています。	
スマートインターチェンジ 高速道路にある、一部のサービスエリア、パーキングエリアに併設されているETC専用の出入り口です。	
県境アナウンス 県境をお知らせします。 * 北海道、沖縄では対象エリアがないため、お知らせしません。	
ユーザーメモリ ユーザーメモリで記録したポイントを案内します。 (P31 参照)	

各種無線警告

- * 各種無線 (350.1MHzを除く) の警告は、連続的に受信すると自動的に画面表示のみとなり、警告音やボイスアシスト (音声) をミュート (消音) します。
- * セレクティブアイコンで「無線 レーダー」を設定すると、無線の受信状態を表示します。(P16参照)

警告内容	警告画面
------	------

カーロケーター

警察関係車両などに搭載され、GPS 信号により算出された自車位置情報をセンターなどに送信するシステムです。カーロケーターを受信すると、受信電波の強弱に応じて緊迫状況かどうかを判断してお知らせします。

- * 本機は407.725MHzのカーロケーターのみ受信できます。
- * カーロケーターシステムは、導入されていない地域、搭載されていない車両、システムの変更などの理由により、受信警告できない場合があります。
- * 警察関連車両に追尾されていても、カーロケーターを受信しない場合があります。カーロケーターシステムはすべての警察関連車両に搭載されているわけではなく、また搭載されていても常時電波を発信しているわけではありません。一部地域ではシステムが異なる場合もあります。このような場合には警察関連車両の接近をお知らせすることができません。

1 回目の受信

電波:弱

警察車両 1km 以内

- * カーロケーターの感度 (P26 参照) が「ロー」の場合、受信できません。

電波:強

警察車両 500m 以内



ニアミスアラーム (連続受信)

連続して受信したときに、電波の強弱に応じて緊急状態であるかどうかをお知らせします。

電波:弱

電波:強



警告内容	警告画面
------	------

350.1MHz

主に速度取締り現場などで、測定係と停止係の間で使用される無線です。



バリケードアラーム

検問などがおこなわれている可能性が高いと判断した場合にお知らせします。



レーダー波警告

- * セレクティブアイコンで「無線 レーダー」を設定するとレーダー波の受信状態を表示します。(P16参照)

警告内容	警告画面
------	------

レーダー警告

レーダー波をお知らせします。アラームはレーダー波の強さによって変化します。

- * 警告がはじまって約30秒後、警告音量が自動的に小さくなります。



ステルスアラーム

瞬時の強いレーダー波をステルス波と識別してお知らせします。

- * 警告がはじまって約10秒後、警告音量が自動的に小さくなります。
- * ステルスアラームはステルス波の性質上、余裕を持ってお知らせできません。



対向車線レーダー警告 オートキャンセル

レーダー波を使用した速度取締機が対向車線に設置されている場合、走行速度が制限速度以下なら、警告は自動的にキャンセルされます。



各種設定の変更

BESTセレクト機能

本機の設定には下記のように4つのモードがあり、あらかじめ設定メニュー（P24～P29参照）を各モードに最適な内容にしています。

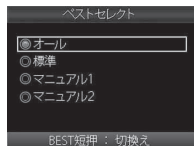
4つのモードはワンタッチ操作で切り替えられます。

モード	モード内容
オールモード	すべての警告/案内がオンになります。
標準モード (工場出荷時の設定)	ベストセレクトされた機能がオンになっています。
マニュアルモード1	初期設定が高速道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。
マニュアルモード2	初期設定が一般道向けに設定されています。お好みに合わせて各種機能の設定を変更できます。

BESTセレクト機能の切り替え

1 BESTボタンを押す。

現在の設定モードをお知らせします。



2 再度BESTボタンを押して設定モードを切り替える。

押すたびに設定モードが切り替わります。

数秒後、待受画面に戻ります。

- * 「マニュアルモード1/2」から「標準モード」「オールモード」に切り替えても、マニュアルモードで個別に変更した設定内容は記憶されています。

設定チェック機能

1 BESTボタンを約1秒間押し続ける。

各機能の設定内容を音声と画面でお知らせします。

設定チェック機能を終了するには、再度**BESTボタン**を押します。

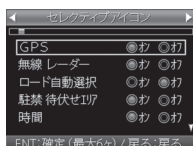
機能設定と基本設定の変更

24～29ページの各設定メニューを変更する場合は以下の手順をおこないます。

- * 「マニュアルモード1」「マニュアルモード2」の「基本設定」を変更したい場合は、**◀▶ボタン**を押して「基本設定」を選択し、**ENTボタン**で確定後、以下の手順をおこないます。

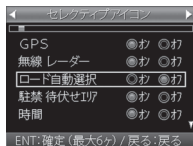
1 ◀▶ボタンを押して変更する設定メニューを選ぶ。

- * **▶ボタン**または**◀ボタン**を長く押し続けると、メニューが順次切り替わります。



<例>
設定メニューから「セレクトティブアイコン」を選んだ場合

2 ▼▲ボタンを押して設定内容を切り替える。



<例>
設定内容から「ロード自動選択」を選んだ場合

3 ENTボタンを押して、設定を確定する。

4 引き続き他の設定を変更する場合、◀▶ボタンを押して設定メニューを選ぶ。

設定を終了して待受画面に戻る場合は、**戻るボタン**を押します。また何もボタンを押さなければ、約15秒後に自動的に戻ります。

機能設定一覧

設定内容を変更する手順は、23ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
取締機	取締機を警告する道路の種類を設定します。
N システム	N システムを警告する道路の種類を設定します。
取締りポイント	取締りポイントを警告する道路の種類を設定します。
待伏せエリア	待伏せエリアを警告する道路の種類を設定します。
制限速度切替り	制限速度が切り替わるポイントを警告するか設定します。 * 制限速度よりも走行速度が速い場合は「スピードに注意してください。」と警告します。
過積載取締機	過積載取締機を警告する道路の種類を設定します。
警察署	警察署 / 交通警察隊を警告する道路の種類を設定します。
交通検問所	交通検問所を警告する道路の種類を設定します。
駐車禁止エリア	駐車禁止エリアを警告するか設定します。
盗難多発エリア	盗難多発エリアを警告するか設定します。
急カーブ	急カーブを警告する道路の種類を設定します。
事故多発エリア	事故多発エリアを警告する道路の種類を設定します。
高速道凍結注意アナウンス	高速道の凍結注意を警告するか設定します。
道の駅	道の駅 / ハイウェイオアシスを案内する道路の種類を設定します。
サービスエリア	サービスエリアを案内するか設定します。
県境アナウンス	県境をお知らせする道路の種類を設定します。
レーダー感度	レーダー波の受信感度を設定します。

- *  の項目は変更できません。
- *  の項目を変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

	BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
	オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール : 高速道 / 一般道に対して警告します。 ハイウェイ : 高速道に対して警告します。 シティ : 一般道に対して警告します。	P20
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール : 高速道 / 一般道に対して警告します。	P20
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	ハイウェイ : 高速道に対して警告します。 シティ : 一般道に対して警告します。	P21
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オフ : 警告しません。	P21
	オール	標準	標準	標準	オール : すべてのポイントに対して警告します。 標準 : 制限速度が下がるポイントのみ警告します。 オフ : 警告しません。	P21
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オール : 高速道 / 一般道に対して警告します。	P20
	オール	オフ	オフ	オフ	ハイウェイ : 高速道に対して警告します。 シティ : 一般道に対して警告します。	P20
	オール	オール	ハイウェイ	シティ	オフ : 警告しません。	P21
	オン	オフ	オフ	オフ	オン : 警告します。	P20
	オン	オフ	オフ	オフ	オフ : 警告しません。	P21
	オール	オフ	オフ	オフ	オール : 高速道 / 一般道に対して警告します。 ハイウェイ : 高速道に対して警告します。	P21
	オール	オフ	オフ	オフ	シティ : 一般道に対して警告します。 オフ : 警告しません。	P20
	オン	オフ	オフ	オフ	オン : 警告します。 オフ : 警告しません。	P21
	オール	オフ	オフ	オフ	オール : 高速道 / 一般道に対して案内します。 ハイウェイ : 高速道に対して案内します。 シティ : 一般道に対して案内します。 オフ : 案内しません。	P21
	オン	オフ	オフ	オフ	オン : 案内します。 オフ : 案内しません。	P21
	オール	オフ	オフ	オフ	オール : 高速道 / 一般道に対して案内します。 ハイウェイ : 高速道に対して案内します。 シティ : 一般道に対して案内します。 オフ : 案内しません。	P21
	エキストラ	エキストラ	エキストラ	エキストラ	オート : 走行速度に合わせて自動で変化します。 約50km/h以上 約50 ~ 30km/h 約30km/h未満 走行速度が計測できない エキストラ (高感度) ウルトラ (中感度) スーパー (低感度) エキストラ固定	—
					エキストラ : 受信感度を「高」に固定します。 ウルトラ : 受信感度を「中」に固定します。 スーパー : 受信感度を「低」に固定します。	

機能設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、23ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
L.S.C.	レーダー警告音を自動的にキャンセルする速度を設定します。
カーロケ	カーロケーターを受信する感度を設定します。
350.1MHz	350.1MHz 無線を警告するか設定します。

基本設定一覧

設定内容を変更する手順は、23ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
待受画面	待受状態のときに表示される画面を設定します。
セレクトティブアイコン	画面に表示するアイコンを設定します。 * 最大6ヶまで設定できます。
画面表示	画面を表示するかを設定します。 * 本機を全面ミラーとして使用したい場合に便利です。 * 画面を「オフ」に設定してもオープニング画面、音量調整画面、各種設定画面は表示されます。
画面反転	本機を左ハンドル車に取り付けて、画面を反転する場合に設定します。
画面明るさ 昼間	昼 / 夜それぞれの画面の明るさを設定します。
画面明るさ 夜間	
ロード自動選択	道路の種類に適した GPS 警告をお知らせするために、走行している道路の種類（高速道 / 一般道）を自動で判別するか設定します。 * 道路の種類が一般道か高速道かを自動で判別し、警告内容を設定するため、走行状態によっては実際と異なる設定になる場合があります。確実に警告を出したい場合は、ロード自動選択を「オフ」に設定してください。
エリアビュー	取締機などの手前約 3km 以内で表示されるエリアビューを表示するか設定します。 * 非表示（オフ）にした場合は、代わりに待受画面を表示します。

- *  の項目は変更できません。
- *  の項目を変更する場合は、あらかじめ「マニュアルモード1」または「マニュアルモード2」に切り替えてください。
- * 電源を切っても各設定は保存されます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

	BEST セレクト（モード）				設定内容（▼▲ボタン）	参照
	オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
	30キロ	30キロ	50キロ	30キロ	30 キロ :30km/h 以下のときにキャンセルします。 40 キロ :40km/h 以下のときにキャンセルします。 50 キロ :50km/h 以下のときにキャンセルします。 60 キロ :60km/h 以下のときにキャンセルします。 オフ :L.S.C.を設定しません。	P16
	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ	感度ハイ :受信感度を1km 範囲に広げます。 感度ロー :受信感度を 500m に範囲を狭めます。 オフ :カーロケを設定しません。	P22
	オン	オン	オン	オン	オン :警告します。 オフ :警告しません。	P22

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
デジタルメーター				デジタルメーター / アナログメーター / 衛星情報 / 時間 カレンダー / エコドライブ / デジタルフォフレーム / オフ	P17
GPS オン / 無線 レーダー オン / ロード自動選択 オフ / 駐禁 待伏せエリア オン / 時間 オン / 音量 オフ / L.S.C. オン / SD オン / 方位 オフ				GPS / 無線 レーダー / ロード自動選択 / 駐禁 待伏せエリア / 時間 / 音量 / L.S.C. / SD / 方位	P16 P34
オン				オン :表示します。 オフ :表示しません。	—
オフ				オン :画面を反転します。 オフ :画面を反転しません。	P10
3				1 :画面の輝度を最大にします。 2 ↓	—
4				3 :画面の輝度を標準にします。 4 ↓ 5 :画面の輝度を最小にします。	—
オフ				オン :自動で道路の種類を判別します。 オフ :自動で道路の種類を判別しません。	P16
オン				オン :表示します。 オフ :表示しません。	P18

基本設定一覧（つづき）

設定内容を変更する手順は、23ページを参照してください。

設定メニュー（◀▶ボタン）	メニューの説明
警告パターン	各種警告を表示する際のパターンを設定します。 * 実写案内を表示したい場合は、実写案内用画像が記録されたmicroSDカードを本機に挿入しておく必要があります。データがない場合は、アニメ警告が表示されます。
スクリーンセーバー	画面の焼きつきなどを軽減するスクリーンセーバー機能を実行するか設定します。 * 設定をオンにした場合、待受時間が約1分間経過すると実行します。
飲酒運転禁止	電源を入れたときに表示されるオープニング画面で、飲酒運転を警告するか設定します。 * 夜間に限ります。
安全運転アナウンス	安全運転に向けた3つのアドバイスをお知らせするか設定します。 ・長時間運転休憩案内 : 電源が入ってから2時間後（以降2時間ごと）にお知らせします。 ・長距離走行案内 : 電源が入ってから100km 走行後（以降100km ごと）にお知らせします。 ・ヘッドライト点灯案内 : 日没時刻にお知らせします。 * 個別のオン/オフの設定はできません。
日差し注意	太陽の位置が低いため運転時に日光がまぶしく感じる朝と夕方に、注意をお知らせするか設定します。 * マナーモード中はお知らせしません。
速度アラーム	走行速度が超えたときにアラームで警告する上限速度を設定します。
速度アラーム音	速度アラーム警告時に流れる音の種類を設定します。
時報アナウンス	毎正時に時刻をボイス（音声）またはチャイム音でお知らせするか設定します。
メモリ消去	設定ごとにカスタマイズしたメモリをリセットします。
データ情報	GPSデータ、および実写案内用画像のバージョンを表示します。 GPSデータ、および実写案内用画像を更新する際の目安としてお使いください。
初期化	本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。

- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。
- * 表のBESTセレクトは、初期設定の内容です。

	BEST セレクト (モード)				設定内容 (▼▲ボタン)	参照
	オール	標準	マニュアル1	マニュアル2		
		アニメ警告			アニメ警告 実写案内 (SD)	P18
		オフ			オン :実行します。 オフ :実行しません。	—
		オン			オン :警告します。 オフ :警告しません。	P14
		オン			オン :お知らせします。 オフ :お知らせしません。	—
		オフ			オン :お知らせします。 オフ :お知らせしません。	—
		オフ			80 キロ :80km/h を超えた場合、警告します。 90 キロ :90km/h を超えた場合、警告します。 100 キロ :100km/h を超えた場合、警告します。 110 キロ :110km/h を超えた場合、警告します。 120 キロ :120km/h を超えた場合、警告します。 130 キロ :130km/h を超えた場合、警告します。 オフ :警告しません。	—
		アラーム 1			アラーム 1 アラーム 2 アラーム 3	—
		ボイス			ボイス チャイム 1 チャイム 2 オフ :お知らせしません。	—
		—			ユーザーメモリ プリセットポイント レーダーキャンセルエリア	P30 と P32
		—			-	P35
		—			開始	P35

GPSを利用した機能

GPS測位について

GPSを利用した機能を使用するために、GPSの測位確定が必要となります。本機の電源が入ると、自動的にGPS測位が始まります。GPS測位が確定すると「♪ピンポン、GPSを測位しました。」とお知らせします。

GPS測位状態の確認

GPSの測位状態は、セレクトティブアイコンで確認できます。詳しくは、16ページを参照してください。



注意

お買い求め頂いて、初めてお使いになる場合

- GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合があります（約15分程度）これは製品不良や故障などではありません。あらかじめご了承ください。GPS測位に20分以上かかる場合は電源を入れ直してください。
- トンネル内、高架下、ビルの谷間、森林の中や高圧電線、高出力無線の近くなどではGPSを測位しにくくなりますので、ご注意ください。
- GPS機能を使用するには、GPS測位中に限られます。
- 車内でTVの56chにチャンネルを設定していると、本機のGPS測位ができなくなる場合があります。これは製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。

GPS警告ポイントの消去

本機に登録されているGPS警告ポイントを消去することができます。この機能を使用することで、撤去された取締機などに対応することができます。

GPS警告ポイントの消去方法

- 1 消去したいポイントのGPS警告動作中に「♪ピンポン」と鳴るまで**戻るボタン**を押し続ける。

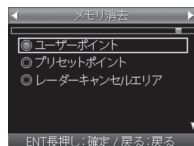
操作結果を音声でお知らせします。

GPS警告ポイント消去機能のリセット

GPS警告ポイント消去機能で消去したポイントを手でリセットし、復帰させます。

- * 個別での復帰はできません。一括での復帰となります。
- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選択します。

- 1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



- 2 ▼▲ボタンを押して「プリセットポイント」を選ぶ。

「プリセットポイント、プリセットポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「プリセットポイント消去しました」とアナウンスされるまで**ENTボタン**を押し続ける。

ユーザーメモリ



リモコンを使って、現在地のポイント記録すると、ユーザーポイントとして案内します。記録したポイントは1km先から3ステップで案内します。

- * 制限速度の設定はできません。
- * 記録するには、GPSを測位した状態で約1km以上走行する必要があります。
- * 100箇所を越えると、100箇所目のポイントに上書きされます。

ユーザーポイントの記録

- 1 記録したいポイントで「㇏ピンポン」と鳴るまで**戻るボタン**を押し続ける。

結果	ボイスガイド
ポイント記録成功	ユーザーポイント記録しました。
ポイント記録失敗 (自車位置が計測できない)	㇏ピンポン GPSを測位できません。
ポイント記録失敗 (走行データなし)	ユーザーポイント記録できません。

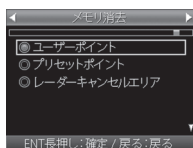
ユーザーポイントの個別消去

- 1 設定したユーザーポイントのGPS警告動作中に、操作結果がアナウンスされるまで**戻るボタン**を押し続ける。

ユーザーポイントの全消去

- * ユーザーポイントは一度消去するとデータを復元することはできません。消去操作は十分に注意してください。
- * マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

- 1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



- 2 ▼▲ボタンを押して「ユーザーポイント」を選択する。

「ユーザーポイント、ユーザーポイント…」と繰り返しアナウンスされます。

- 3 「ユーザーポイント消去しました」とアナウンスされるまで**ENTボタン**を押し続ける。

レーダーキャンセルエリア



レーダー警告音が必要ないと思われるエリアでは、GPSを使って半径約200m圏内のレーダー警告音をキャンセル（消去）することができます。

* 最大で100箇所のポイントをキャンセルできます。

レーダーキャンセルエリアの記録

1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまでミュートボタンを押し続ける。

* GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

結果	ボイスガイド
エリア記録成功	♪ピンポン レーダーキャンセルエリア記録しました。
エリア記録失敗 (自車位置が計測できない)	♪ピンポン GPSを測位できません。
エリア記録失敗 (その他の理由)	♪ピンポン レーダーキャンセルエリア記録できません。

レーダーキャンセルエリアの確認

レーダー波の受信状態は、セレクトティブアイコンで確認できます。詳しくは、16ページを参照してください。

レーダーキャンセルエリアの個別消去

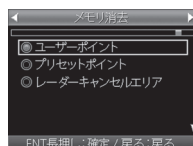
1 消去したいエリアでのレーダー警告中に「♪ピンポン」と鳴るまでミュートボタンを押し続ける。

* GPS測位の状態によっては、結果が出るまで最大約20秒かかります。

レーダーキャンセルエリアの全消去

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「メモリ消去」を選ぶ。



2 ▼▲ボタンを押して「レーダーキャンセルエリア」を選ぶ。

「レーダーキャンセルエリア、レーダーキャンセルエリア…」と繰り返しアナウンスされます。

3 「レーダーキャンセルエリア消去しました」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

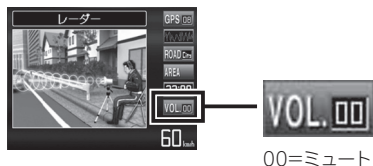
音の設定

警告音のミュート

レーダー波警告中に警告音をミュート（消音）します。

* 画面表示はおこないます。GPS警告はミュートできません。

- 1 警告動作中にミュートボタンを押す。
ミュート中はセレクトティブアイコンの「音量」で確認できます。（P16参照）



■ レーダー波警告中の場合

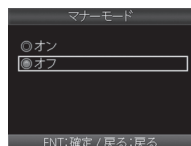
ミュート中、レーダーの受信が無くなった時点で、ミュート機能は自動的に解除されます。

* ミュートの動作中にミュートボタンを再度押すと、ミュートが解除されます。

マナーモード

レーダー受信時/GPS警告時/無線受信時にボイスアシスト（音声）と警告音を出力せず、メロディと画面表示だけで注意を促します。

- 1 電源ボタンを押す。



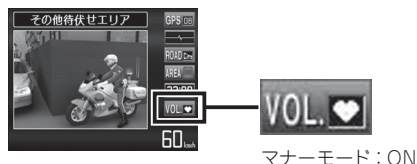
- 2 ▼▲ボタンを押して設定を切り替える。

- 3 ENTボタンを押して設定を確定する。

設定変更をおこなわない場合、数秒後、待受画面に戻ります。
セレクトティブアイコンの「音量」で確認できます。（P16参照）

* マナーモード時は下記のアナウンスなどもミュートします。

- ・ 時報
- ・ 速度アラーム
- ・ 日差し注意
- ・ 安全運転アナウンス



その他の機能

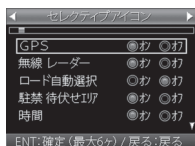
セレクトティブアイコン

画面に表示するアイコンを9種類から任意に0～6個選択できます。

* 各アイコンの詳細については16ページを参照してください。

* 選択方法は23、26ページを参照してください。

6個選択された状態で違うアイコンを選択する場合は、すでに「オン」になっているアイコンを「オフ」にしてから、別のアイコンを選択します。



セレクトティブアイコンの一括表示/一括非表示

1 ▼ボタンを約1秒間押し続ける。



一括非表示にした場合

2 再度表示するには▼ボタンを約1秒間押し続ける。



GPSデータ更新

microSDカードを使用してGPSデータの更新をおこないます。詳しくは専用サイトを参照してください。
<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>

1 電源を切る。(P14参照)

2 更新用GPSデータが入ったmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入する。(P13参照)

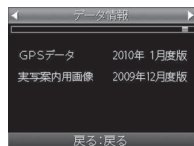
3 電源を入れる。

本体が自動的に再起動され、GPSデータが自動的に更新されます。



* 途中、メッセージが変わります。

GPSデータのバージョンを確認します。(P35参照)



データの更新が失敗した場合、以下の画面が表示されるので電源を入れなおしてください。再度、自動的にデータの更新が開始します。



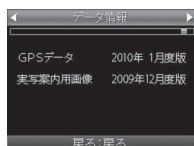
それでもデータの更新に失敗する場合、MyCellstarのサイト内の説明をよく読み、再度データの更新をしていただくか、カスタマーサービス（裏表紙参照）へご連絡ください。

4 必要であればmicroSDカードを取り出します。(P13参照)

GPSデータと実写案内用画像のバージョン確認

* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「データ情報」を選ぶ。



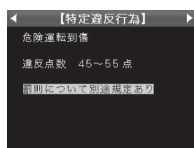
* 表示内容は、実際の製品とは異なります。

反則金データベース表示機能

交通違反の際に課せられる反則金や反則点数をディスプレイに表示します。違反内容によっていくら反則金が課せられるか、または何点反則点数が加算されるかを調べるのに便利です。

1 電源ボタンを約1秒間押し続ける。

ディスプレイに反則金データベースが表示されます。



* 表示内容は2010年2月現在のものです。

* すべての交通違反は登録されていません。

2 ◀▶ボタンを押して表示内容を切り替える。

違反点数の大きい順に画面が切り替わります。

3 通常の画面に戻る場合は戻るボタンを押す。

エリアタイムディマー機能

GPSの時刻情報を利用し、各地域での昼/夜/薄明時(朝または夕方)の時刻に応じてディスプレイの明るさを自動的に調整します。

* 設定は不要です。

オートトーンダウン機能

レーダー警告が始まってから約30秒後、またはステルスアラームが始まってから約10秒後に、警告音量が自動的に小さくなります。

* 設定は不要です。

レシーバーオートミュート機能

同じ無線を連続して受信すると、自動的に警告音やボイスアシストをミュート(消音)します。

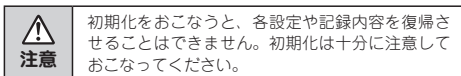
* 350.1MHzはミュートされません。

* 画面表示はおこないます。

* 設定は不要です。

本機の初期化

この操作をおこなうと、各設定や記録内容はすべて消去され、工場出荷時の状態に戻ります。



* マニュアルモード1/2の場合、先に「基本設定」を選びます。

1 ◀▶ボタンを押して「初期化」を選ぶ。

「初期化、初期化…」と繰り返しアナウンスします。



2 「開始」とアナウンスされるまでENTボタンを押し続ける。

初期化が終わると「初期化完了」とアナウンスされます。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次のことをご確認ください。

症状	考えられる原因	参照
電源が入らない	・DC12Vが入力されていますか。 ・本体とDCコードが外れていませんか。 ・シガライター用DCコードのヒューズが切れていませんか。	P8 - P9
機能設定が変更できない	・「マニュアルモード」に設定されていますか。	P23
GPS 信号を受信しない	・GPS信号は受信可能ですか。	P10、P30
速度取締機の警告をしない	・GPS信号は受信可能ですか。 ・GPS警告ポイント消去機能が設定されていませんか。	P10、P30
	・登録されていない速度取締機の可能性があります。	—
	・取締機の設定が「ハイウェイ」または「シティ」になっていませんか。	P24
GPS 警告をしない	・設定が「オフ」になっていませんか。	P24 - P27
	・登録されていないポイント（エリア）の可能性があります。	—
	・ロード自動選択機能が「オン」になっていませんか。	P26
制限速度切替りポイントのGPS 警告をしない	・制限速度切替りポイントの設定が「標準」で制限速度の上がる地点で警告しない設定になっていませんか。	P24
何もないのにレーダー警告音が鳴る	・速度取締機と同じ電波は他の機器でも使用されています。その場合、レーダー警告を出す場合があります。これは故障ではありません。あらかじめご了承ください。 ＜同じ電波を使用している機器例＞ - 自動ドアの一部 / 車両通過計測器 / NTTの通信回線の一部 / 気象用、航空機用などのレーダーの一部 ＜対処＞ - レーダーキャンセルエリア	—
ユーザーメモリをお知らせしない	・ポイントは記録されましたか。 ・反対方向などから走行していませんか。	P31
L.S.C. 機能が働かない	・L.S.C. 機能は「オフ」になっていませんか。	P26
ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点がある	・ディスプレイ特有の現象であり、故障ではありません。	—
ディスプレイに表示跡や色むらがある	・ディスプレイの特性によるものです。不良や故障ではありません。	—
350.1MHzを受信しない	・各種無線の設定が「オフ」になっていませんか。 ・無線は常に発信されているわけではありません。	P26

症状	考えられる原因	参照
カーロケーターを受信しない	- カーロケの設定が「オフ」になっていませんか。 - カーロケーターシステムを搭載していない車両の可能性があります。 - カーロケーターシステムが導入されていない地域の可能性があります。	P26
実写で警告しない	- microSDカードに実写案内用画像が記録されていない、またはmicroSDカードが挿入されていますか。 - 速度取締機の場合、実写案内用画像が用意されていない場合があります。最新のGPSデータならびに実写案内用画像はMyCellstarのサイトから無料でダウンロードできます。	P13
自動的にいろいろな警告や案内を繰り返す	ディスプレイモードになっています。カスタマーサービスにご連絡ください。	裏表紙
夜間走行中にミラーが見にくい	夜間走行の際、ミラーが暗く見えづらい場合がありますが、これはハーフミラーの特性によるものであり、不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。	—
ミラーが歪んで映る	緩曲面ミラーの特性によるものであり、不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。	—

アフターサービスについて

保証書について

■ 保証書（別途添付）

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

修理を依頼される時

「故障かな?と思ったら」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。



修理・点検を依頼される場合

設定の記憶やお客様が情報を登録できる製品につきまして、修理・点検作業の際、本機は工場出荷状態に戻ります。お客様が設定した内容や、記録した位置データ等はすべて消去されます。あらかじめご了承ください。

■ 保証期間中のおとき

（保証書に販売店名、日付印がないと無効になります）

恐れ入りますが、お買い上げの販売店まで、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定にしたがって修理いたします。

- ・ディスプレイの中に小さな黒い点や輝点が出て、保証対象になりません。
- ・焼き付けや色むらなどによるディスプレイの修理は保証対象になりません。

■ 保証期間が過ぎているとき

お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

個人情報に関して

本機に対するお問い合わせ、修理などを依頼される場合の個人情報の利用目的について

1. 当社製品・サービスなどに関するお問い合わせ、ご相談、修理などに対応するため。
2. 製品の企画、開発、販売促進、営業活動にお客様のご要望を反映させるため、および満足度向上などの検討に必要な参考資料とするため。

当社でのお客様の個人情報取り扱いについては
当社ホームページでご確認いただけます。

<http://www.cellstar.co.jp/>

リモコンの紛失について

万一リモコンを紛失された場合は、お買い求めになった販売店までご連絡ください。

GPSデータの更新について

本機は速度取締機、取締りポイントなどの位置データを使用して製造をおこなっています。その後、速度取締機などの新設や変更などがあった場合、その内容を反映させたデータを1年に6回を目安として更新用データを作成しております。

また、更新用データの作成につきましては、製品の仕様や更新用データの都合などにより、更新用データの作成を終了させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

データ更新は選べる3プラン【入会金・年会費不要】

■ ダウンロードお家で更新プラン

パソコンを使用して更新データをダウンロードします。

何回でもダウンロード可 無料

MyCellstarのサイト
(<http://www.cellstar.co.jp/sdcard/>)にアクセスします。
手順にしたがってmicroSDカードにコピーします。
(市販のカードリーダー/ライターなどをご利用ください。)



専用サイトの説明、注意事項をよく読み、手順にしたがってGPSデータを更新します。

■ microSDカード購入ラクラク更新プラン

更新用データ入りカードを当社お客様相談窓口または販売店で購入します。

1枚 ￥2,500(税込)

■ 送って更新プラン

製品を当社に送っていただき当社で更新を実施します。

1回 ￥3,000(税込)

お買い求めになった販売店、当社お客様相談窓口までご連絡ください。また、データ更新作業の際に工場出荷状態に戻ってしまう場合があります。あらかじめご了承ください。

- * プランによっては、別途送料が必要です。
- * お客様所有のmicroSDカード（記憶媒体）へのデータ書き込みサービスは一切おこなっておりません。

仕様・定格

■本体

- GPS受信部
 - 受信方式 : 12ch パラレル受信
 - 受信周波数 : 1575.42MHz
- レーダー受信部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : Xバンド、Kバンド
- レシーバー部
 - 受信方式 : ダブルスーパーヘテロダイン方式
 - 受信周波数 : 350.1MHz 407MHz帯
- 電源電圧 : DC12V
- 動作温度範囲 : -10℃～+65℃
- サイズ : 272 (W) × 20.3 (D) × 80 (H) mm
 - *突起部除く
- 表示部 : IPS液晶

■リモコン

- 使用電池 : リチウム電池 CR2032×1
- 動作温度範囲 : -10℃～+65℃
- サイズ : 32 (W) × 13 (D) × 66 (H) mm

- * 改良などのため、本機の仕様・定格などを変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- * 本書記載の画面表示は実際の表示と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- * 本書記載の警告時などの表示画面はアニメ警告の場合のものです。

新設速度取締機、Nシステム、取締りポイントなどの情報提供のお願い

本機でお知らせできない新設された速度取締機、Nシステムの情報や高速道、一般道に関わらず有人取締りが頻繁におこなわれるエリア、追尾取締りや検問などの目撃情報がありましたら、当社カスタマーサービスまたは、e-メールなどでお知らせ頂きますようお願いいたします。

カスタマーサービス ☎ 0120-75-6867

(携帯電話・PHS よりおかけの方は、TEL. 046-275-6867)

e-メール : ranavi@cellstar.co.jp / ホームページ : www.cellstar.co.jp

- * 携帯電話などからe-メールでの情報提供をしていただき、返信メールをご希望される場合には、パソコンからのメールを受信できる状態、または、cellstar.co.jp をドメイン指定してください。詳しい設定方法については、お使いの携帯電話会社へお問い合わせください。

各地域のお客様相談窓口一覧

■北海道地区 北海道セルスター工業株式会社

〒004-0843
札幌市清田区清田三条 1-3-1
TEL.011-882-1225 (代)
FAX.011-881-7251

■東北地区 セルスター工業(株) 仙台営業所

〒981-3117
宮城県仙台市泉区市名坂字原田 158
TEL.022-218-1100 (代)
FAX.022-218-1110

■関東地区 セルスター工業(株) 関東営業所

〒242-0002
神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
TEL.046-273-1100 (代)
FAX.046-273-1106

■セルスター工業株式会社 カスタマーサービス

〒242-0002
神奈川県大和市つきみ野 7-17-32
フリーダイヤル 0120-75-6867
TEL.046-273-1100 (代)

■中部・北陸地区

〒463-0021

中部セルスター工業株式会社

愛知県名古屋市中区大森 4-1002
TEL.052-798-6325 (代)
FAX.052-798-6315

■関西・中国・四国地区 関西セルスター工業株式会社

〒562-0004

大阪府箕面市牧落 3-8-7
TEL.072-722-1880 (代)
FAX.072-722-5575

■九州地区

〒811-1347

セルスター工業(株) 福岡営業所

福岡県福岡市南区野多目 1-11-7
TEL.092-552-5252 (代)
FAX.092-552-5300

名称、所在地、電話番号は変更する場合があります。
あらかじめご了承ください。

全国自動車用品工業会会員 <http://www.cellstar.co.jp>

CELLSTAR® セルスター工業株式会社